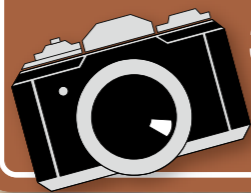


3月 MARCH

|     |  |
|-----|--|
| 17日 | 表敬 NTT株式会社代表取締役副社長 金澤薫氏<br>面談 衆議院安全保障委員会   |
| 18日 | 要請 沖縄県骨髄バンクを支援する会代表 上江洲富夫氏ほか   |
| 19日 | 沖縄国際アジア音楽祭協賛金贈呈式 贈呈者 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社<br>「沖縄21世紀ビジョン(仮称)」(案)の中に施策を盛り込むことを求める決議書手交   |
| 23日 | 表敬 (株)WOWOWコミュニケーションズ 代表取締役社長 戸田隆氏<br>民事介入暴力事案等の連携に関する 協定書締結式<br>不発弾磁気探査現場視察         |
| 24日 | 第2回沖縄国際映画祭開幕   |
| 25日 | 表敬 駐日オーストラリア大使 アリスティア・マレー・マクレーン氏<br>表敬 石垣市長 中山義隆氏<br>面談 防衛大臣 北澤俊美氏                   |
| 26日 | 公立大学法人名桜大学設立認可書交付式<br>沖縄県行政改革推進本部会議<br>かりゆしウェア着用キャンペーン                               |
| 28日 | 沖縄科学技術大学院大学新研究施設 開設記念式典  |
| 29日 | (財)沖縄県体育協会から「美ら島沖縄総体2010」および「沖縄県高等学校体育連盟」へのスポーツ振興基金贈呈式<br>沖縄県消防広域化等研究協議会設立総会         |
| 30日 | 沖縄県行政改革懇話会<br>交通安全功労者表彰(緑十字金章)受章報告<br>表敬 台湾防災科学技術センター所長 陳亮全氏ほか<br>退職者辞令交付式および永年勤続表彰式 |
| 31日 | 面談 衆議院外務委員会<br>仲里副知事退職辞令交付式  |

4月 APRIL

|    |  |
|----|--|
| 1日 | 上原副知事辞令交付式<br>各種交付式(辞令・委嘱状・割愛採用など)<br>知事上京(3日まで)                     |
| 8日 | 県立農業大学校入学式<br>表敬 駐日コロンビア大使 パトリシア・ガルデナス氏<br>表敬 沖縄観光の未来を考える会会長 新垣安男氏ほか |
| 9日 | 表敬 沖縄弁護士会会長 宮國英男氏<br>沖縄県医師会主催 「平成22年度研修医歓迎レセプション」                    |



3月・4月の動き

# 県政フラッシュ

3/26

## 今年の新作 かりゆしウェアお披露目!



宮里理事長(右)とかりゆしウェアをPRする 仲井真知事

毎年恒例の「かりゆしウェア着用キャンペーン」セレモニーが県民広場で行われた。

セレモニーに出席した仲井真知事は「私は毎日かりゆしウェアを着ている。皆さんにもぜひ着用していただき、暖かく、色鮮やかな沖縄を演出していただきたい」とあいさつし、長年かりゆしウェアの着用促進に取り組む沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合の宮里一郎理事長からかりゆしウェアの贈呈を受けた。

セレモニー終了後に開催された新作ファッションショーでは県職員らがモデルとなり、22業者35点の新作かりゆしウェアを披露した。

3/23

## 仲井真知事が 不発弾探査事業の現場を視察



説明を受ける仲井真知事

仲井真知事は、県が平成21年度不発弾探査事業で発注した八重瀬町字宜次地内の現場を視察した。

現場で、同事業の受託業者から不発弾磁気探査発掘の方法等について、説明を受けた仲井真知事は、「不発弾を探す磁気探査事業が、想像していた以上に複雑で苦労して行っていることがわかった。今後とも、磁気探査関係予算を拡充して、今なお県内に多く残る不発弾の早期処理に取り組んでいきたい」と述べた。

3/31  
4/1

## 仲里副知事が退任し、新たに上原副知事が就任



仲井真知事より辞令の交付を受ける仲里副知事

3月31日、仲里全輝副知事の退職辞令交付式が行われ、仲井真知事は「仲里副知事には、基地問題、沖縄振興、県立病院改革など難しい問題の解決にあたってもらった。長い間ご苦労様でした」と、在任中の労をねぎらった。これに対して仲里副知事は「知事には今後とも新しい体制のもとで県民福祉の向上に取り組んでいただきたい」と語り、職員らが作った花道を通して県庁を後にした。

翌4月1日、仲井真知事は、上原良幸副知事に辞令を交付し、新三役体制がスタートした。

3/24

## 今年もやってきた! 第2回沖縄国際映画祭開幕



あいさつする仲井真知事

「Laugh&Peace」をテーマにした第2回沖縄国際映画祭が宜野湾市の沖縄コンベンションセンターを主会場に開幕した。

オープニングセレモニーで、おなじみのスターや芸人の方たちが登場すると、観客からは笑いと歓声があがった。同映画祭名誉会長を務める仲井真知事は「沖縄国際映画祭の開催により、世界中から多くの人々が集い、映画を通じた新たな交流が生まれ、ここ沖縄から世界へ、『笑い』と『平和』が広がっていくものと確信している」とあいさつした。

- 2 県政フラッシュ
- 4 特集1 5月は自動車税の納期です
- 6 特集2 子どもを生み育てやすい環境づくりを支援します
- 8 特集3 沖縄県の水道
- 10 比べてわかるみんなのシゴト 白書 海のシゴト
- 12 県のうごき1 新部長等を紹介!します!
- 13 県のうごき2 ゴーヤー消費拡大キャンペーン
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながる広がる 人・モノ・文化 地域物語 南風原のまちづくり

### 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課 ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課  
TEL.098-866-2020  
http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

沖縄の人口 世帯の動き  
平成22年3月1日現在



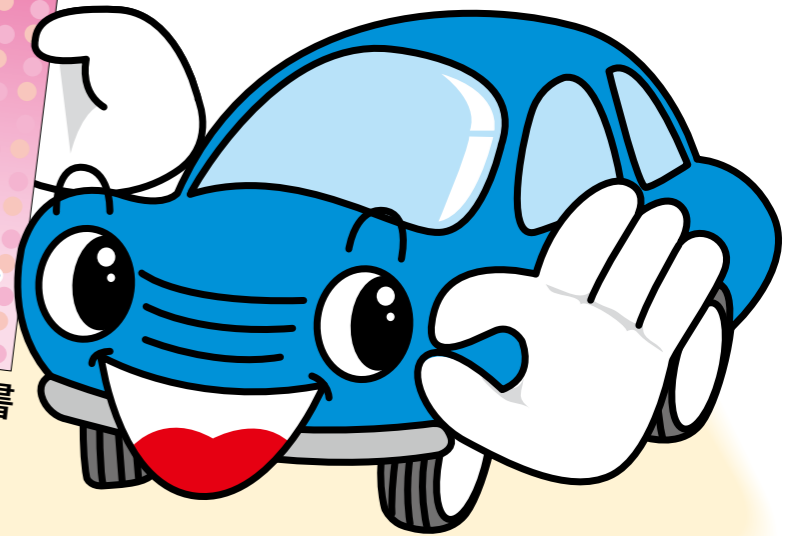


自動車税は、毎年四月一日現在の自動車検査証に記載されている所有者に課されます。自動車の登録をそのままにしておくと、既に手放した車や車検が切れた車でも自動車税が課されます。また、住所変更、氏名変更等の登録がなされないと納税通知書が届かないことがあります。自動車検査証の記載内容に変更がある場合は、すみやかに登録の手続を行いましょ。

まっ消、名義変更はお済みですか？

# 5月は自動車税の納期です

平成22年度自動車税の納期限は**5月31日(月)**です！  
納期内納付にご協力をお願いします。



平成22年度 自動車税の納税通知書

- 【環境負荷が小さい自動車】**  
税率がおおむね五十%から二十五%軽減されます。
- 【対象】**  
◎平成二十一年四月一日から平成二十二年三月三十一日までに新車新規登録をした自動車で、排ガス性能および燃費性能に優れた自動車
- 【環境負荷が大きい自動車】**  
税率がおおむね十%上乗せされます
- 【対象】**  
①平成二十二年三月三十一日までに新車新規登録から十三年を超えるガソリン車および液化石油、ガス車(LPG車)  
②新車新規登録から十一年を超えるディーゼル車

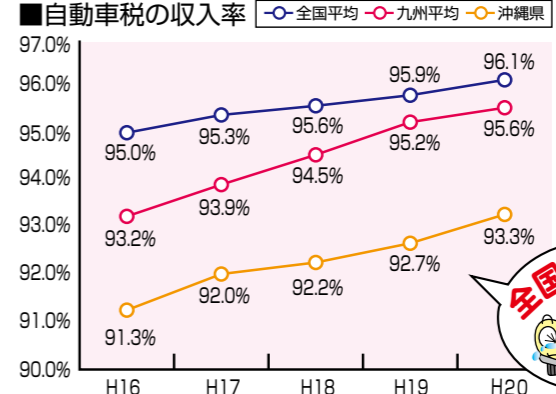
自動車税のグリーン化について

ECOカーは自動車税も軽減されますよ



納期内納付のお願い

自動車税は、県の重要な自主財源で、道路や病院、県立学校の建設など、日常生活に欠かすことのできないさまざまな公共サービスを支えています。



しかし、本県の自動車税収入率は年々上昇しているものの、依然として全国最下位です。また、納期内に納付しない納税者に対して発送する督促状や催告書に多額の費用を要しています。大切な税金を有効に使うためにも自動車税は、五月三十一日までに納めましょ。

### 自動車税に関するお問い合わせ

|                |                                      |
|----------------|--------------------------------------|
| 県自動車税事務所       | TEL 098-879-1627<br>FAX 098-879-1620 |
| 県宮古事務所<br>県税課  | TEL 0980-72-2553<br>FAX 0980-72-4115 |
| 県八重山事務所<br>県税課 | TEL 0980-82-3045<br>FAX 0980-82-2044 |

お問い合わせ ● 県税務課 TEL:098-866-2101 FAX:098-866-2709

納付場所が増えました！

自動車税は、金融機関窓口、県内のゆうちょ銀行・郵便局、ファミリーマート、コストア、ローソンなどのコンビニエンスストア、各県税事務所、宮古事務所県税課または八重山事務所県税課の窓口でも納めることができます。

- 金融機関窓口
- ゆうちょ銀行
- 郵便局
- コンビニ
- 各県税事務所

※軽自動車税は市町村税です。納付方法等については、お住まいの市町村にお尋ねください。

おきなわ子ども・子育て応援プラン(後期)の概要

計画期間 平成22年度から平成26年度まで

基本理念 親子が心身共に健やかに成長できる 子育て 親育ち 地域育ち

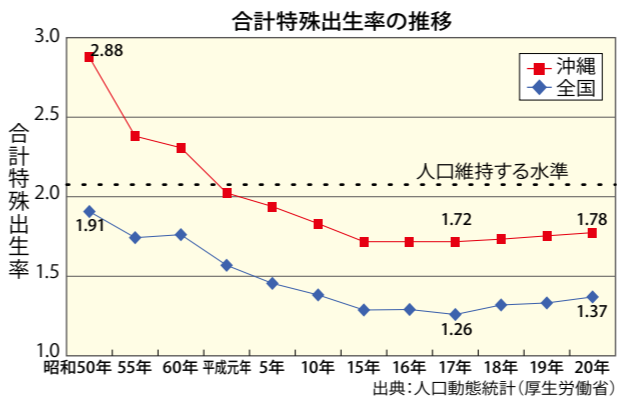
| 9つの基本的な視点   |  |   |
|---|--|---|
| <b>子どもの視点</b><br>子どもの利益が最大限尊重されるよう配慮するための取り組みを推進        | <b>次代の親づくりという視点</b><br>長期的な視野に立った子どもの健全育成のための取り組みを推進         | <b>サービス利用者の視点</b><br>利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な取り組みを推進            |
| <b>社会全体による支援の視点</b><br>さまざまな担い手の協働のもとに次世代育成支援対策の取り組みを推進 | <b>仕事と生活の調和の実現の視点</b><br>結婚や子育てに関する希望を実現するため関係者と連携しての取り組みを推進 | <b>子どもと家庭への支援の視点</b><br>社会的養護体制の整備、自立支援策の強化、子どもの貧困の問題への対応 |
| <b>社会資源の効果的な活用の視点</b><br>地域の社会資源を十分かつ効果的に活用するための取り組みを推進 | <b>サービスの質の視点</b><br>サービスの量、質の確保のため、資質向上、情報公開や評価等に取り組む        | <b>地域特性の視点</b><br>地域コミュニティの体制を確立するための取り組みを推進              |

基本理念の実現に向けた計画の8つの柱と主な施策

- 地域における子育ての支援**
  - 地域子育て支援拠点施設の設置促進
  - 幼稚園における預かり保育事業の充実促進
  - ファミリー・サポート・センターの機能充実(病児・病後児の受け入れ等)
  - 保育サービスの充実(待機児童解消策、認可外保育施設対策、多様な保育サービスへの対応)
  - 民生委員・児童委員等、福祉・介護人材の確保策
  - 放課後児童クラブ(学童)の充実
  - 経済的支援の充実(子ども手当の支給促進)
- 母性並びに乳児および幼児等の健康の確保および増進**
  - 周産期保健対策の強化、周産期医療体制の整備
  - 乳幼児の健康の保持増進(健診の充実・強化、歯科保健対策の推進、母乳育児の推進等)
  - 「食育」の推進
  - 思春期保健対策の充実(性・エイズ教育の推進、喫煙・飲酒問題対策、薬物乱用問題対策)
  - 小児医療の充実(かかりつけ医の推進、小児救急体制の整備)
  - 不妊治療対策の充実
  - 離島で暮らす妊婦が安全・安心して出産できる体制の整備
- 子どもの健やかな成長に資する教育環境の整備**
  - 次代の親育てを意識した活動支援
  - 青少年の交流体験推進
  - 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備
  - ユイメール精神でつなぐ学校・家庭・地域社会の連携
  - 生き生きした活動を支える社会教育基盤の整備・充実
  - 子どもを取り巻く有害環境対策の推進
- 子育てを支援する生活環境の整備**
  - 県営住宅への多子世帯の優先入居
  - 県有施設のバリアフリー化の推進
- 職業生活と家庭生活との両立の推進等**
  - 仕事と生活の調和の実現に向けた取り組み
  - 男性の家庭生活への参画促進に向けた取り組み
  - ファミリー・サポート・センターの設置・促進
- 子ども等の安全の確保**
  - 子どもの交通安全を確保するための活動の推進
  - 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
  - 少年育成支援活動の推進
  - 「ちゅらさん運動」の広報啓発の推進
- 7.要保護児童への対応などきめ細やかな取り組みの推進**
  - 児童虐待防止対策の充実(発生予防の取り組み、児童相談所の体制強化、重大事例の検証等)
  - 社会的養護体制の充実(家庭的養護の推進(里親およびファミリーホームの設置)・施設機能の見直し(小規模グループケアの実施、地域小規模養護施設)の設置等)・家庭支援機能等の強化(児童家庭支援センター)の設置)・子どもの権利擁護の強化
  - 障害児施策の充実
  - 発達障害児支援体制の充実(早期発見・早期支援体制の充実・ライフステージに応じた各種支援の取り組み)
- ひとり親家庭等の自立支援の推進**
  - 就業支援策の充実
  - 子育て・生活支援策の充実
  - 養育費の確保策の充実
  - 経済的支援策の充実(父子家庭に対する児童扶養手当の支給)
  - 自立促進の基盤づくり

※詳しくは、県青少年・児童家庭課ホームページをご覧ください。

お問い合わせ ●県青少年・児童家庭課 TEL: 098-866-2174 FAX: 098-868-2402



少子化の現状

沖縄県は、本土復帰以降、合計特殊出生率(一人の女性が生涯に生む子どもの数)が全国一位を維持しているものの、減少傾向が続いている。

県では、子どもを生み育てやすい環境づくりを支援するため、平成二十二年度から五年間の沖縄県における子育て支援の総合的な計画となる「おきなわ子ども・子育て応援プラン」(後期計画)を策定しました。

子どもを生み育てやすい環境づくりを支援します

**これまでの取り組み**

沖縄県においては国の少子化対策とあわせ、平成十七年三月に「おきなわ子ども・子育て応援プラン」(前期計画)を策定し、待機児童の解消に向けた保育所や放課後児童クラブ(学童)の整備をはじめ、母子の健康の確保と増進への取り組み、子どもの健やかな成長のための教育環境と生活環境の整備、子どもの安全の確保のための取り組み、保護を要する子どもの対応への取り組み、ひとり親家庭の自立支援の取り組みなどを行ってきました。

**プランの概要**

後期計画では、「心身共に健やかに成長できる子育て親育ち地域育ち」を基本理念に、その実現に向けて、福祉、保健、教育、労働、住宅、安全など子育てに関するあらゆる分野が密接に連携して、子育て支援を行政の立場から支える施策を盛り込んでいきます。主な施策については、左頁のとおりです。



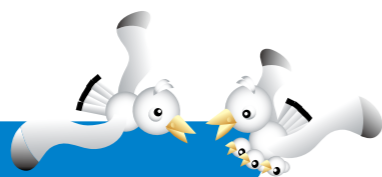
**社会全体で子育て支援に取り組むために**

このプランは、主に県の果たす役割を中心に策定していますが、次の世代を担う子どもたちが心身共に健やかに育つための環境を作るためには、家庭や行政だけの責任にとどめることなく、社会全体の課題としてとらえ、すべての子育て家庭を社会全体で支援していくことが求められます。

このプランで掲げた施策をより実効性のあるものとするために、県や市町村はもとより、家庭、地域社会、事業者などがそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携や協力を取って行くことが必要です。

子どもは家族、そして地域の宝です。県としても、子どもの成長を日々実感しながら、地域全体の中で安心して子育てが楽しめる沖縄県を目指して努力してまいりますので、県民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

●6月1日～7日は水道週間



毎年6月1日から7日は水道週間となっています。水道週間は、さまざまな広報活動等を通して、水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道事業のさらなる発展に資することを目的として、厚生労働省、都道府県をはじめ各市町村の水道事業者等によってさまざまな関連行事が開催されます。

沖縄県企業局では、水道週間行事の一環として北谷町にある北谷浄水場・海水淡水化センターの一般公開を行います。安全でおいしい水がどのようにしてつくられているか、楽しく見学することができます。ウォークラリーや利き水のほか、職員有志によるバンド演奏も行われます。入場は無料でどなたでも見学することができますので、ぜひ、この機会に水道施設をご覧ください。



H21年度水道週間ポスター

●北谷浄水場・海水淡水化センター一般公開

日時 平成22年6月6日(日) 午前10時～午後4時

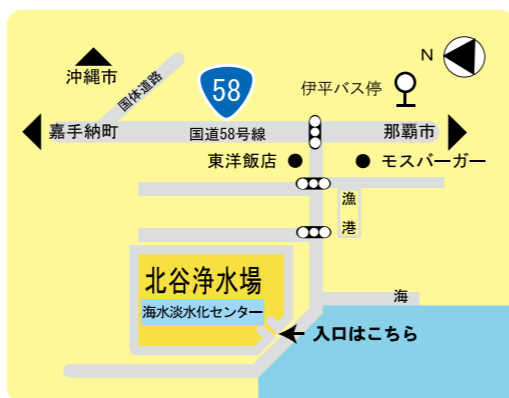
安全でおいしい水が、どのようにつくられているか、見学することができます。(入場無料)

※ただし、上記以外の日には事前の予約が必要です。

所在地 北谷町字宮城1-27

電話 北谷浄水場(098)936-7796

海水淡水化センター(098)936-5257



●水道週間行事(北谷浄水場・海水淡水化センター一般公開風景)



ウォークラリー



利き水



琉産バンド

※写真は平成21年度のもので

「第6回沖縄の水デジタルフォトコンテスト」作品募集

県企業局では、写真を通して県民の皆様に水や水道と親しむ機会を提供することにより、暮らしに密接に関わっている水や水道の大切さについて再認識してもらうことを目的として、「沖縄の水デジタルフォトコンテスト」を開催します。県内在住であればどなたでもご応募できますので、皆様のご応募お待ちしております。

応募期間：平成22年6月1日～8月9日

お問い合わせ ●県企業局総務企画課 TEL:098-866-2803 FAX:098-866-2819

# 沖縄県の水道

～安全でおいしい水を届けます～



県企業局キャラクター「水道マン」

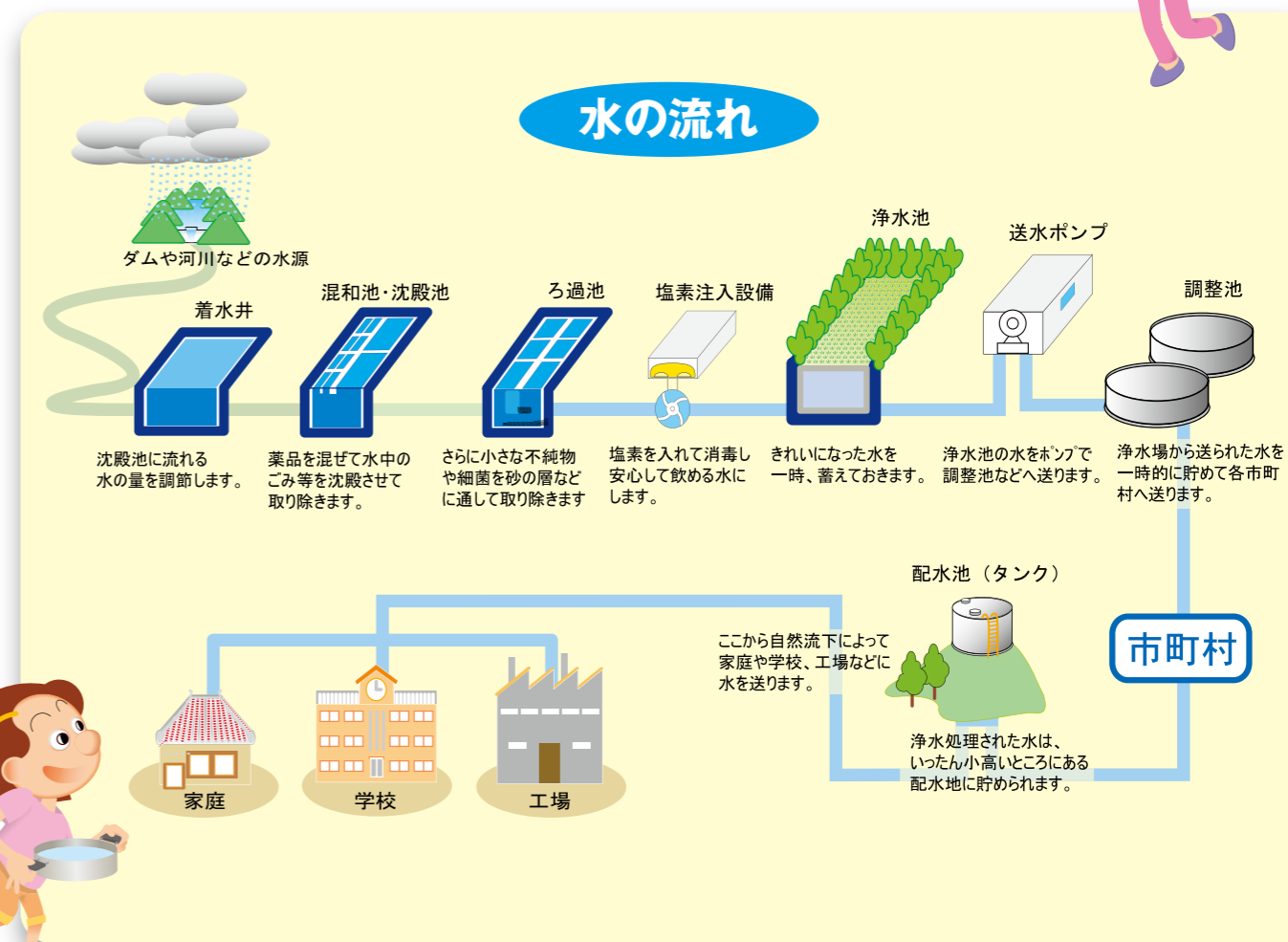
県企業局では水道用水供給事業を行っています。この事業は、市町村等へ水道用水を広域的に供給するもので、いわば、水の卸売業の役割を果たしています。家庭や学校などの地域社会に直接給水を行うのは市町村の事業です。

本島のほとんどの市町村は独自の水源を持たないことから、企業局がダムや河川などから取水し浄水処理した上で、国頭村、大宜味村、東村、宜野座村を除く本島22市町村と伊江村に水を供給しています。

●水ができるまで

私たちは、水道の蛇口をひねるだけで、きれいな水を自由に使うことができます。さて、その水はどこから来るのでしょうか。

沖縄本島では、中・北部の河川やダムなどから浄水場に運ばれ、その後、各市町村の配水池を経由して私たちの家庭・学校・会社へと届けられるのです。



## 求職者の皆様必見です!!

### 沖縄県キャリアセンターをご存じですか?

就職についてのさまざまなお役立ち情報を提供しています。就職相談から、企業の人事担当者や気軽な懇談会が出来る「Live Café」や、ちょっとした時間を利用して参加できるコンビセミナーなどすべて無料!気軽に利用してみよう!

沖縄県キャリアセンター  
那覇市おもろまち1-3-5 ハローワーク那覇 3階  
☎098-866-5465, FAX:098-862-5014  
E-MAIL:info@career-ce.jp  
利用時間:9:00~17:15  
休館日:土・日・祝日、年末年始、慰霊の日  
http://www.career-ce.jp/

### 『地域若者サポートステーション 沖縄』が移転しました

移転先:沖縄市中央2-28-1 コリンザ3階  
サポートステーションでは、15~39歳で学校を卒業後・中退後、あるいは離職後、しばらく職についていない若者やその保護者の相談を受け、その人にあったプログラムの実施により支援しています。

サポートステーションなは  
☎098-853-5111  
サポートステーション沖縄  
☎098-989-4224

### ワンストップ型雇用相談窓口 設置事業のご案内

県では国や市町村等が行っている雇用施策も含め、求職者、求人企業双方に対する雇用に関する情報を一元化し、キャリアカウンセラーや社会保険労務士を配置した総合相談窓口を設置する事業を進めています。詳細は追って雇用労政課HPに掲載いたしますので、ぜひご確認ください。

案内サービス例:  
○合同企業面接会・説明会、各種セミナー・講座、人材育成支援事業など  
○助成金取扱窓口の紹介、人材採用担当者向け各種セミナーの紹介

◆設置場所:沖縄産業支援センター (5月10日から開始予定)

### 一日のタイムスケジュール

8:30 出勤  
イルカの健康管理 (体温測定・必要に応じて血液検査など)  
エサの準備  
11:00 イルカショー、イルカのトレーニング、プール清掃など  
16:30 日誌記入、片付け、翌日の準備など  
17:30 業務終了

これを何度も繰り返し一つずつ芸を覚えさせます。言葉が通じないイルカが相手。本当に根気・体力が必要ですが、イルカの成長過程を間近で見られることは大きな喜びです。  
今後は大学で学んだことを生かして鳴き声の研究を続け、まだまだ謎が多いイルカの生態を解明したいですね。

### 仕事のツボ アドバイス

お客様の喜ぶ顔を見るのが一番のやりがいです。泳げることは絶対条件で、専門知識だけでなく、体力や観察力、生き物好きかどうか重要です。慣れや油断は禁物。なかなか就職できなくてもあきらめないで!



### 一日のタイムスケジュール

7:40 現場に到着・天気チェック  
8:00 ラジオ体操・危険予知活動  
8:15 現場作業工程説明・指示記録写真撮影・作業進行確認  
12:00 昼食・休憩  
13:00 作業再開  
17:30 現場作業終了  
18:00 現場事務所に戻り作業日誌等記入  
18:30 業務終了

さないうちに石を二度も洗ったり、海底五メートル下まで覆いをして、大好きな沖縄の海を守る努力をしました。  
報告書の作成や現場工事が点数で評価されるなど苦勞も多く、気の緩みが事故につながる厳しい仕事。常に緊張感を保ちながら経験を積み、早く先輩たちのように一人前になりたいです。

### 仕事のツボ アドバイス

土木施工管理技士の資格は必須。これからは、海環境を守りながら工事を行う技術を持つ水産工学技士の資格も必要だと思います。いろいろな資格取得や勉強をすることで採用にも近づけます。粘り強くがんばろう!



### イルカ飼育員



海洋博公園管理センター 海獣課 イルカ飼育員 渡辺梓さん (勤続5年目・27歳)

**子** 子供の頃に見た「イルカショーのお姉さん」がきっかけ

幼い頃にイルカショーを見て以来、「イルカのお姉さんになる」と家族に宣言した私。  
高校卒業後は長崎の大学の水産学部へ進学。水族館は定期採用がない狭き門なので、水産加工業など別業種も考えました。でも、昔からの

夢だったので、辛くても一年はがんばろうと就職活動を続けた結果、沖縄で採用。あきらめないで良かったです。

**言** 葉が通じないイルカが相手 根気と体力、気配りが大事

イルカに芸を教えるには、こちらが求めている動作をした時にホイッスルを鳴らし、エサを与えます。そ

### 土木および海洋土木技士



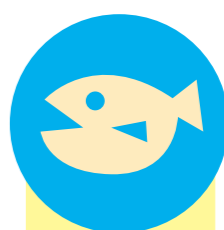
株式会社屋部土建 土木部 大城徹さん (勤続6年目・28歳)

**手** に職を持つ「技術者」になりたかったんです

学生時代から技術職を考えていて、護岸や橋、防波堤などの大きな建設物を作って残したいという思いから、土木の道へ進みました。

**公** 共の建設物が自分の仕事として残る責任と誇り

ずっと現場主任でしたが、平成二十年に監理技術者の資格を取得。初めて工事現場の監理を任された時は、安全品質・工程・環境・予算のすべてを監理する責任の重さを実感しました。  
橋や護岸、防波堤など海洋土木の難しさは、海中の作業だということ。以前行った湾の護岸工事では、巨大な被覆石を船で運び、海水を汚



## 海のシゴト

### イルカ飼育員と土木および海洋土木技士

今回は沖縄の美ら海を舞台に働く二人が主役。どちらも海に関わるけれど、仕事の内容はかなり違うようです。

その他の「海のシゴト」  
・造船業  
・水産業  
・海上保安官  
・海運・旅客  
・マリレジャー

# みんなのジョブ白書

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある!就活世代に役立つヒントがいっぱいです。

# 新部長等を紹介いたします!

新たに就任した副知事・部長等に抱負を聞いてみました。



## 副知事

**上原 良幸**  
(うえはら よしゆき)  
出身地: 那覇市  
年齢: 60歳  
趣味等: 読書

職責の重さを自覚しつつ「チャースガ・ウチナー」というテーマを追い続けたい。  
人と人の絆が先細る一方で官の役割が問われる時代だが、小賢い評論ではなく、志ある行動によって展望を開くべきだろう。一つのアクションあるいは1枚のペーパーで状況は突破できるとの思いを抱く者たちが「チーム沖縄」で結束することだ。

## 文化環境部長

**下地 寛**  
(しもじ ひろし)  
出身地: 宮古島市  
年齢: 54歳  
趣味等: ウォーキング、ゴルフ



世界に誇れる沖縄の自然や歴史、伝統、文化は県民の宝であり、同時に多くの人々を魅了する資源です。この財産を県民と共に守り育て次の世代に継承していく道筋をつけることが重要だと思っています。県民的視点にたち、文化の振興や県民生活の安定、環境の保全・再生、利活用を積極的に進め、元気で癒される地域づくりに貢献していきたいと思っています。

## 病院事業局長

**伊江 朝次**  
(いえ ともつぐ)  
出身地: 那覇市  
年齢: 62歳  
趣味等: ゴルフ、野球、ウォーキング



医学部を卒業後、県立中部病院での臨床研修をかわきりに36年間、外科医として沖縄県の地域医療に従事してまいりました。今後は中部病院と八重山病院での勤務経験を生かして、沖縄県の離島のすみずみまで県民が安心して暮らせる医療を提供できるように関係機関と協力していきたいと考えております。

## 知事公室長

**又吉 進**  
(またよしすすむ)  
出身地: 那覇市  
年齢: 54歳  
趣味等: 模型づくり、読書



県庁内では団塊の世代の先輩方が多く退職され、世代交代が進みつつあります。世代は変わっても、沖縄県の基地負担は戦後60年余絶えることなく続いており、基地問題解決を求める県民の声はますます高まっています。また、地域社会を支える防災対策など職責の重さに身の引き締まる思いですが、世代の持つ感性を大切にしつつ進んでいきたいと思っています。

## 会計管理者

**米蔵 博美**  
(よねくらひろみ)  
出身地: 今帰仁村  
年齢: 58歳  
趣味等: 読書、庭いじり

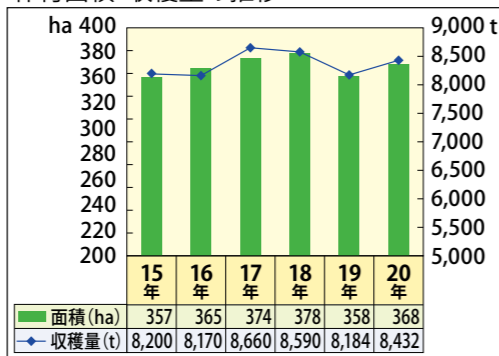


出納業務は、事業執行の締めとなるところであり、歳入歳出予算の執行の結果・実績を明らかにし、決算を通して予算執行の結果がどうなったか検証する基礎資料を提供する役割を担っています。そのためにも適正な事務処理は基本であり、各部局と連携を図りながら職員や出先機関の指導を充実していきたいと考えています。

# ゴーヤー消費拡大キャンペーン 今が旬! 県産ゴーヤーを食卓へ

島野菜の代表「ゴーヤー」は、ビタミンC、カロテンが豊富に含まれています。定番料理「ゴーヤーチャンプル」は、ほろ苦い独特の食味とともにスタミナが充実するおいしです。

作付面積・収穫量の推移



【ゴーヤーの産地・収穫量】  
ゴーヤーは県内各地で生産されていますが、特に今帰仁村、糸満市、名護市、豊見城市、宮古島市などで多く生産されています。県全体での作付面積は三百六十八ヘクタール、奥武山総合運動公園の約十五個分です。収穫量は平成十五年以降毎年八千トンを超えています。  
沖縄の温暖な気候はゴーヤー栽培に適し、年間を通して生産されています。冬春期の本土市場では、沖縄産ゴーヤーがそのほとんどを占めています。

「夕風」(右)  
紡錘形、濃緑色、イボは鋭い。  
施設栽培用。収穫: 9月~6月



「夏盛」(左)  
紡錘形、濃緑色、イボは鋭い。  
施設栽培用。収穫: 5月~10月

## 【ゴーヤーの種類】

「夕風」は、ずんぐりとした形で、イボも丸みを帯びた「アバシー」以外に、「群星」「夕風」「島風」「夏盛」などの品種があります。県では「夕風」「夏盛」の生産に力を入れています。

(主な特徴)  
「群星」: 紡錘形、濃緑色、イボは鋭い。施設栽培用。収穫は三月~十月  
「島風」: 紡錘形、濃緑色、イボは少し丸みを帯びる。露地栽培用。収穫は四月~十月

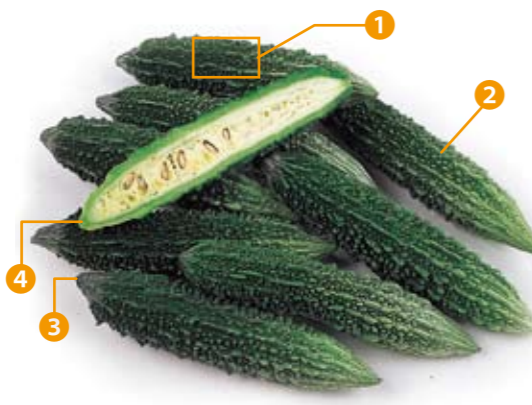
## 【ゴーヤーの豆知識】

ゴーヤーのわたや種の周りを包んでいる皮には果肉の二倍以上のビタミンCが含まれています。種を取り除いたわたは、湯通し後、サラダとして食べる事ができます。また、ゴーヤーは、塩もみや冷水にさらしたりすることで苦みを和らげることができます。

- 新鮮なゴーヤーを選ぶには、4つのポイントがあります。
- 1 表面がツヤツヤ、みずみずしい
  - 2 イボにはりがあり、しなびていない
  - 3 ヘタの切り口が新鮮
  - 4 しつかり肉厚、太さが均一

## 【ゴーヤーの日】

毎年、五月八日「ゴーヤーの日」に旬入り宣言を行い、ファーマーズマーケットなどでゴーヤーの即売会や新メニューの提案など消費拡大イベントを開催しています。



ゴーヤーの日イベントの様子

イベント問い合わせ  
沖縄県農林水産物  
販売促進協議会  
(事務局・流通政策課内)  
☎098-866-2255



【ゴーヤーの日】イベント  
日時 五月八日(土)  
午前十一時半~午後四時  
場所 ファーマーズマーケット(糸満市)  
内容 旬入り宣言セレモニー、新たなゴーヤーレシピ発表会、および試食、ゴーヤーの即売会、子ども料理教室等

また、拠点産地の市町村では、児童・生徒によるゴーヤーの植え付けや収穫など、さまざまな体験イベントも行っていきます。  
現在では、栽培管理や品種改良により、年間を通して生産されているゴーヤーですが、やはり暑くなるこの時期からゴーヤー本来の旬となります。  
スタミナ料理の材料として最適な旬の県産ゴーヤーをぜひ、お手に取りご賞味ください。

お問い合わせ ● 県流通政策課 TEL.098-866-2255 FAX.098-862-7519



# 情報ひろば

5月 MAY

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 |    |    |    |    |    |

6月 JUNE

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |    |

## 試験

### 平成23年度教員候補者選考試験

- 第一次試験 7月18日(日)・19日(月)
- 試験会場 那覇高校、小禄高校その他4会場
- 受験年齢 昭和50年4月2日以降に生まれた者等
- 受験資格 教員免許状を有する者または平成23年3月末日までに取得見込みの者等
- 願書交付 4月21日水～5月12日水
- 願書受付 5月6日(木)～12日(水) 午前9時～午後4時

### 高等学校卒業程度認定試験

- 試験日 8月4日(水)・5日(木)
- 場所 県立那覇商業高等学校
- 願書配布 5月19日(水)まで
- 願書受付 4月30日(金)～5月19日(水) ※5月19日(水)消印有効
- 問合せ 県教育庁県立学校教育課 ☎098-866-2715

### 平成22年度沖縄県職員採用試験

- 【上級試験】
- 第一次試験 6月27日(日)
- 申込書配布期間 4月26日(月)～5月21日(金)
- 配布場所 県人事委員会事務局名護県税事務所、コザ県税事務所、県宮古事務所、県八重山事務所および各県外事務所
- 受付期間 5月10日(月)～21日(金)
- 問合せ 県人事委員会事務局総務課 ☎098-866-2545

### 警察官(A大卒)採用試験

- 第一次試験 7月10日(土)・11日(日)
- 申込書配布期間 4月26日(月)～5月21日(金)
- 配布場所 県警察本部警務課 県内各警察署および各県外事務所
- 受付期間 5月10日(月)～21日(金)
- 警察官(A男性)は、警視庁および千葉県人事委員会との共同試験であり、警視庁または千葉県警を志望することができません。
- 問合せ 県警察本部警務課 ☎098-866-0110

## 募集

### ホストファミリー募集

- 受入期間 6月16日水～26日土予定
- ゲスト対象者 海外県人系子弟で満13歳～25歳の生徒、学生
- 費用負担 ゲストのホームステイに係る滞在費(泊3,500円の補助あり)
- 応募締切 5月7日(金)
- 問合せ 県交流推進課 ☎098-866-2479

### 基地内大学就学者募集

- 応募締切 5月7日(金)午後5時
- 基地内大学 メリランド大学、セントラル・テキサス大学、トロイ大学
- 募集人数 70人程度(短期大学、大学、大学院およびブリッジプログラム)
- 問合せ (財)沖縄県国際交流・人材育成財団 ☎098-942-9214

### JICAボランティア募集

- 国際協力機構(JICA)では、自分の技術や経験を活かして開発途上の国づくりに貢献する青年海外協力隊、シニア海外ボランティアを募集しています。
- 応募資格 20歳～69歳の日本国籍の方
- 応募締切 5月17日(月)
- 【体験談・説明会】
- 日時 5月7日(金)午後7時～
- 場所 JICA沖縄国際センター(浦添市)
- 備考 参加無料・予約不要・入退場自由
- 問合せ (独)国際協力機構沖縄国際センター ☎098-876-6000

## お知らせ

### 不正大麻・けし撲滅運動

「みんなでなくそう!不正大麻・けしをテーマに沖縄県不正大麻・けし撲滅運動(4月1日～5月31日)を展開しています。不正大麻・けしの情報がありましたら、県業務衛生課、各保健所、沖縄麻薬取締支所、最寄りの警察署までご連絡ください。

● 問合せ 県業務衛生課 ☎098-866-2215

### マチ類保護区を変更します!

近年激減しているマチ類を保護するため、4月よりマチ類の保護区を5カ所に増やし、保護区内でのひき縄以外の漁法を禁止します。マチ類の資源保護にご協力をお願いします。

● 保護区(禁漁期間)

① イチャビラー(7月～9月)

② 北タイキウソネ(5月～11月)

### 春の一日合同行政相談所

- 総務省沖縄行政評価事務所では、関係機関の協力を得て、県民皆さまの行政に対する苦情や要望にお答えする「一日行政相談所」を開設します。
- 日時・場所
- 5月21日(金)午前10時～午後4時
- サンエー経塚シティ1階中央コート
- 5月31日(月)午前10時～午後4時
- 豊見城市役所6階多目的ホール
- 備考 当日は弁護士による法律相談も受け付けます。相談は無料です。
- 問合せ 県広報課 ☎098-866-2020
- 総務省沖縄行政評価事務所 ☎098-866-1110

## 各施設行事予定表

### 県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

☎098-941-8200

#### 博物館

##### ◆新収蔵品展

期間:5月14日(金)～6月6日(日)  
入場料:一般200円、高校生・大学生150円、小・中学生100円

#### 美術館

##### ◆いわさきちひろ展

期間:5月9日(日)まで  
入場料:一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円

##### ◆石川直樹写真展

期間:5月9日(日)まで  
入場料:大人500円、高校生・大学生300円、小・中学生100円

##### ◆遠き道展

期間:5月18日(火)～6月6日(日)  
入場料:一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円  
※障害者手帳をお持ちの方は無料で入場できます。

##### ◆儀間比呂志展

期間:9月5日(日)まで  
入場料:大人300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円  
※70歳以上と県内小中学生は無料

### 沖縄県公文書館

☆休館日:毎週月曜日、祝日(日曜日が祝日の場合は、翌平日)

☎098-888-3875

#### ◆常設展「深く掘れ、己の胸中の泉」

◆特別企画「海の沖縄戦展」  
期間 いずれも6月27日(日)まで  
※入場料は無料です。

## 県広報課からのお知らせ



- 1日・2日 知って防ごう消費者トラブル
- 8日・9日 民生委員・児童委員について
- 15日・16日 自動車税の納期内納付について
- 22日・23日 もずくの美味しさを広げよう
- 29日・30日 水道週間

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

## ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日

ラジオ沖縄 (864kHz) 11:50～11:55  
RBCラジオ (738kHz) 11:55～12:00  
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

ご意見・ご提言 募集 県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。

あて先 県民ご意見箱、知事へのたより

※記入様式等は、ホームページをご覧ください。



研修会の様子

大会公式HPはこちら <http://www-ih2010.jp>

5月1日(土)大会開催まで、あと88日です。

「美ら島沖縄総体2010」通信 ⑬

三月七日、県立浦添高校で大会記録ビデオ撮影研修会を行いました。

この研修会は、大会の映像記録を撮影する高校生の撮影技術向上をめざしたもので、総合開会式や競技種目別大会で撮影を担当する四高校の放送部から十六人の生徒が参加しました。

まず最初に、講師を務めたNHK沖縄放送局の松本敏樹チーフカメラマンから、各カメラの位置や撮影役割、会場の雰囲気や伝わるような観客の様子を撮影するタイミングなど、撮影の基本を学びました。次に撮影実習を行い、一人ひとりがカメラを持ち、バスケットボール部の試合を撮影。生徒たちが撮影した映像をスクリーンに写しだし、松本カメラマンから評価・指導を受けました。生徒たちは、松本カメラマンのアドバイスを参考に再度カメラをまわし、撮影技術を磨きました。

今回の研修では、プロのカメラマンから直接指導を受けるということと、緊張気味の生徒達でしたが、競技の瞬間をとらえるために技術習得しようとする生徒達の真剣な姿勢がうかがえました。



広がる笑顔の輪!  
元気なネットワーク!!

みんなでやると  
楽しいね

左から、松田一志さん、赤嶺美和さん、  
藤原政勝さん、野原恵子さん、大城清子さん

温かみのある  
手づくりが魅力

南風原らしさが  
満載の  
新商品です!

「第一回ふえーばる物産展」の様子  
町内外からのお客さんで  
大賑わい



# つながる広がる 人・モノ・文化 地域物語

南風原のまちづくり  
協働のまちづくりから生まれた「横のつながり」  
住民の力で南風原をもっと元気に!



まちづくりで  
人と人をつなげます!

## 住民と行政による 「協働のまちづくり」

「かすりの里」で知られる南風原町は、織物生産のほか、畜産や農業が盛んな地域で、特にカボチャは県内トップの生産量を誇ります。また、那覇市に隣接し都市開発が進む中、昔ながらの文化や風習を色濃く残している地域でもあります。

町では平成十七年からの二年間、住民と意見交換をしながら第四次総合計画を策定。セミナーや地域住民へのアンケートを実施し、施策に反映してきました。「まちづくり計画に参加した二年間で、自分たちが何をすべきか学びました」と話すのは、今回のキーパーソン、藤原政勝さん（NPO法人「南風原平和ガイドの会」事務局長）。「まちづくりを継続したい有志六名で「南風原町まちづくり未来塾」を結成し、「地域の助っ人、人と人をつなぐ接着剤」の役割として南風原を元気にする取り組みを行っています。

## まちづくり計画から生まれた ファミリーサポート

住民アンケートで最も要望が多かった子育て支援のファミリーサポート事業は、藤原さんが地元の主婦たちを

で八百四十人と盛況のうちに終了しました。野原さんは「みんなでやって楽しかった。多くの人とつながることができた」と物産展を振り返ります。

藤原さんは「売り上げよりも、南風原の物産を掘り起こすことがねらい。反響も大きく、第二回もみんなで成功させたい」と意欲的です。

## 広がり続ける「やる気 元気 南風原のまちおこし」

今後のまちづくりの展望を聞くと、「規格外のカボチャをフレック状にして有効活用したい」と、無農薬野菜を育てている大城清子さん。「餅の端切れで気軽に買えるお土産を」と野原さん。松田さんは「食べ物や飲食店のつながりで南風原に貢献したい」とのこと。南風原のパパ・ママを地域で応援したい!と話するのは赤嶺さん。藤原さんは平和ガイドの会を軌道に乗せ、南風原を訪れる人々に生きた文化を伝えたい。ともに動く仲間を作り、住民同士がつながることが最大の目標」と語ります。

南風原の元気な笑顔は、これからもつながり、広がり続けます。

お問い合わせ

NPO法人 南風原平和ガイドの会  
電話：098-8809-2533

サポートし、行政に呼びかける形で実現しました。コーディネーターとして常駐する赤嶺美和さんは、「今まで家で子育てをしていた私にこんな大きな仕事ができるか不安でしたが、藤原さんの後押しで少しずつ自信ができました。ママたちのネットワークも広がりました」と瞳を輝かせます。今では登録する利用会員・サポーター会員が合計で百三十人を超え、子育てだけでなく、高齢者や障がい者を支えようとする地域の助け合いネットワークとしても活用されています。

## まちの魅力を掘り起こし 「ふえーばる物産展」を開催

「南風原には気軽に買えるお土産がない」との町民の声から、藤原さんは社会福祉協議会や商工会青年部部長の松田一志さん、同女性部部長の野原恵子さんに町の物産展を提案。松田さんは「先輩方の真剣な姿を見て、自分もまちづくりの使命を感じ、積極的に意見交換をしています。行政に混じって参加したエリアコーディネーターの勉強会でも、多くの刺激を受けました」と話します。

松田さんと野原さんを実行委員長に町内二十以上の団体に出展や協力を呼びかけたところ、百五十種もの商品が集まり、今年三月に「第一回ふえーばる物産展」を開催。来場者は六日間

## 編集後記

今月号から広報誌がリニューアルしました。表紙は「美ら島沖縄」を守り、未来へつなげるエコ活動を毎号紹介。タイトルロゴは、サンゴをイメージした書体になりました。ページ数は少し減りましたが、その分発行部数を増やし、多くの県民のみなさまにお届けできるようにしています。「美ら島沖縄」のご愛読よろしくお祈りします。(momo)

今月号から「美ら島沖縄」の編集を担当することになりました。「県民にわかりやすい、楽しく、親しめる県政情報誌」となるよう頑張っていきますので、よろしくお祈りします。(ツタイアルキ)

沖縄県広報誌  
平成22年5月1日発行第34巻5号通巻416号

## 美ら島沖縄

●表紙 写真・島袋常貴

表紙 衣裳協力・アトリエセラモード、(有)ジュネ、豊見城市ウージ染め協同組合、ゆいまーる沖縄(株)

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL.098-866-2020

## アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

